

地方創生関係交付金に係る移住定住事業における効果検証シート

交付金対象事業名		事業目的・概要						
移住促進加速化プロジェクト事業		<p>本市は、約12万人の人口規模で、毎年的人口動態は自然増減が△600人、社会増減が△500人と著しい人口減となっている。社会増減に目を向けると高校卒業からの就業・進学により本市から多くの若年層が転出している。この状況に危機感を抱いており、その対策が喫緊の課題である。</p> <p>1 移住コンシェルジュ事業 移住希望者と市内在住者が自然と繋がる体系的な仕組みの構築を目的として移住コンシェルジュを配置する。移住希望者の様々なニーズに応える移住支援のワンストップ化を目指すだけでなく、移住希望者のみならず住民に対してのヒト・モノ・コトの調整役、そして移住に関するエンジンとして移住支援の高度化を目指し体系的な仕組みを構築する。</p> <p>2 ヒト・モノ・コト創出事業 各地で地域おこしプロジェクトに携わる有識者を交えたプロジェクト会議を開催し、都市圏等と本市との関係人口の創出による「人」の流れにつながるプロジェクトを設計し、移住の促進につながる新たなプロジェクトを実施する。</p>						
総合戦略の位置づけ								
基本目標2 地域資源の輝きが生み出す「人の流れ」の創生								
事業開始	事業終期							
令和2年4月	令和5年3月							
実施事業名（令和4年度）		総事業費	財源内訳		実施内容			
			交付金	一般財源等				
1	移住コンシェルジュ事業	4,986,600	2,493,300	2,493,300	移住コンシェルジュを設置し、移住に対する困りごとをトータルにサポート。移住者コミュニティを運営し、移住後のフォローも実施。 空き家の相談窓口開設やセミナーの実施により空き家バンク登録を推進。高校生のシビックプライド醸成し、将来のUターンを促す。			
2	ヒト・モノ・コト創出事業	9,232,700	4,616,350	4,616,350				
合計		14,219,300	7,109,650	7,109,650				
重要業績評価指標（KPI）				事業開始前	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増加分累計
1	加速化プロジェクト事業により移住した人の数（人／年）			0	目標値 3	5	5	13
					実績値 18	66	74	158
2	ヒト・モノ・コト創出事業により立ち上がったプロジェクト件数（件／年）			0	目標値 3	0.5	0.5	4
					実績値 2	1	1	4
3	移住コンシェルジュを活用した市内外を繋げる体系的な仕組み基盤の確立（件／年）			0	目標値 1	1	1	3
					実績値 1	1	0	2
4	上記3を利用した移住相談者数（件／年）			77	目標値 16	21	34	71
					実績値 27	75	159	261
評価	事業効果	移住コンシェルジュ事業	A	近年の移住者数や移住相談件数の伸びは、移住コンシェルジュを設置した影響が大きいと考えられることから事業効果は高いと思われる。一方で、今の移住者の受け入れ態勢を維持していくためにも、コンシェルジュの待遇整備や人材育成に力を入れていく必要がある。				
		ヒト・モノ・コト創出事業	B					
	全体評価（意見）		当事業はKPIを概ね達成しており、移住相談者・移住者の増加に一定の効果があったと認められる。今の事業を踏襲しながら、持続可能な体制を構築するとともに、事業者間の連携を図る仕組みの創設や事業の対象者の拡充などに取り組むことで、更なる移住者の獲得を目指して頂きたい。					

事業効果・・・ S（とても高い） A（高い） B（普通） C（低い） D（とても低い）